

わたの丘

和田だより 第522号 (令和4年8月26日)



学校HP QRコード



中丹総体(卓球)から

いよいよ2学期のスタート 高い人権感覚とコロナに負けない強い意志をもって

8月は前線の停滞で北陸や東北で大雨が続き、大変大きな被害が出てしまいました。被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、残暑厳しいですが、保護者・地域の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。平素は、本校教育推進に格別のご理解とご支援をいただき感謝いたしております。舞鶴市においてはコロナウイルスの感染者数が厳しい状況にはありますが、夏季休業を終え、いよいよ第2学期始業となります。コロナウイルス感染症の影響を受けながらではありましたが、お陰を持ちまして、休業中は生徒たちに大きな事故等もなく始業式を迎えることができました。保護者の皆様はもとより、地域の皆様の生徒に対する温かいまなざしとご支援のたまものと感謝いたしております。ありがとうございました。

さて、本年度の夏の総合体育大会を無事終えることができました。中丹総体においては日程がうまくずれていたこともあり、野球・卓球・バスケットボール・ソフトテニス・ソフトボールと全ての会場を回ることができました。大変暑い中での大会ではありましたが、コロナウイルスの感染予防対策を講じながら、また保護者・地域の皆様にもご理解・ご協力いただきながら、十分な成績をあげることはできませんでしたが、本当に生徒は力いっぱい戦ってくれました。そして、いいゲームを展開してくれたと思いますし、そこから何かを学んでくれたものと感じております。本年度も府の総合体育大会水泳の部に参加する生徒がいましたので、和田中学校からも校長が役員として参加させていただきました。水泳の大会においては、たくさんの役員や先生方がコロナウイルス感染予防にきめ細かな対応をされ、選手や役員に対する健康観察はもとより、競技外でのマスクの着用の徹底、毎回競技を行うたびに繰り返し行われる消毒、そして体調不良で欠席した生徒に対する詳細な症状の追跡、それでもコロナウイルス感染予防対策には限りがあり、すべての感染を防ぐことは不可能です。多くの方々の手によって総合体育大会が行われ、生徒が安心して参加できるよう配慮されていたことに感謝申し上げたいと思います。

1学期終業式で生徒には和田中学校でも課題であると考えております「思いやりの心」をもつことの大切さについて話をしております。前回紹介いたしました京セラの稲盛名誉会長の「人生の方程式」について、この式の中にあるもっとも重要な「考え方」には感謝や思いやりの心が大きく影響するという話を書かせていただきました。そして、もう一つ、何かを行う時にはどんなにささいなことでも必ず注意を向け「よく考えてから行う」ことを稲盛さんは強調されています。確かに緊急時に即行動しなければならないこともあります。ただし、それは日頃からよく考え訓練されていてこそ行えるものです。言葉を発するときや何か行動を起こす時によく考えてから行うことで、人を傷つけたり大きな失敗をしないことにつながります。人として大切な高い人権感覚もこういった意識を持つことで身につけていくと考えています。しかし、失敗しないことが必ずしも大切だとは言われておりません。先日視聴したテレビ番組では、大学の教授が大学生に指導する中で、失敗することを恐れる「失敗したくない若者」の実態を嘆いておられました。失敗することで学ぶことや改善されて人のためにさらに役立っていくこともあります。「失敗しない若者」にはとてもなることはできません。自信をもって行動し、失敗してもそれを支えてくれる「失敗してもいい環境」が大切であり、そのような環境づくりをしていくために高い人権感覚は必要であると思っています。ぜひ、皆様にもご支援いただき、生徒が高い人権感覚を持ち、さらにコロナウイルスに負けない強い意志と高い感染予防意識でもって長い2学期を乗り切り、有意義な日々を送ってくれることを願いたいと思います。今後も2学期に予定しております行事を何とか感染予防しながら、進めていきたいと思っています。2学期においてもご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

校長 荒賀 洋